

輸送系ワーキンググループの設置について

平成 18 年 5 月 26 日
宇宙開発委員会計画部会決定

1. 設置の趣旨

宇宙輸送技術は、我が国における宇宙開発利用の自律性の確保という観点においてその基幹となるものであり、高い安全性・信頼性が求められるとともに、打上げに係るコストや能力など国際的な競争力が求められるものである。本年度から開始されている第 3 期科学技術基本計画及び同計画に基づく分野別推進戦略においても特に重要な技術であると認識され、「国家基幹技術」として位置付けられている。

今般の「宇宙開発に関する長期的な計画」の検討に当たっては、宇宙輸送技術が、上述のように宇宙開発利用の根幹として特に重要な技術であって、その検討には専門的な知見が要求されるとともに、集中的な調査審議が不可欠であることから、計画部会の下に「輸送系ワーキンググループ」を設け、専門的かつ集中的な審議を行うこととする。

なお、その審議の結果は、計画部会に報告し、更に同部会で審議を重ねた上、「宇宙開発に関する長期的な計画」の策定に反映させることとする。

2. 調査審議の内容

輸送系ワーキンググループにおいては、以下の項目について専門的・技術的な観点から調査審議を行う。

我が国における基幹輸送系の在り方について

我が国における多様な宇宙輸送系の在り方について

我が国における将来輸送系について

3. 輸送系ワーキンググループの構成員

座 長： 青江計画部会長

委 員： 計画部会構成員のうち部会長が指名する者

なお、審議内容に応じて大学、産業界等から有識者を適宜招へいして意見聴取する。

4. その他

「宇宙開発委員会の運営等について」(平成 13 年 1 月 10 日宇宙開発委員会決定)を踏まえ、輸送系ワーキンググループにおける調査審議は原則として公開することとし、特段の事情がある場合には、非公開とすることができるものとする。

(別紙)

宇宙開発委員会計画部会輸送系ワーキンググループ 構成員

青江 茂 宇宙開発委員会委員

松尾 弘毅 宇宙開発委員会委員長代理

森尾 稔 宇宙開発委員会委員(非常勤)

青木 節子 慶應義塾大学総合政策学部教授

歌野 孝法 株式会社NTTドコモ取締役常務執行役員

小池 俊雄 東京大学大学院工学系研究科教授

棚次 亘弘 室蘭工業大学航空宇宙機システム研究センター長

中須賀真一 東京大学大学院工学系研究科教授

高柳 雄一 多摩六都科学館館長

田中 俊二 社団法人日本航空宇宙工業会常務理事

中田 勝敏 社団法人日本経済団体連合会宇宙開発利用推進会議宇宙利用部会長

牧島 一夫 東京大学大学院理学系研究科教授

村上 卓司 日本ロケット協会会長

米本 浩一 九州工業大学工学部教授